【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年1月27日(2005.1.27)

【公開番号】特開2002-290442(P2002-290442A)
【公開日】平成14年10月4日(2002.10.4)
【出願番号】特願2001-92259(P2001-92259)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｌ　12/56
　Ｈ０４Ｌ　12/28
　Ｈ０４Ｌ　29/08
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｌ　12/56　　Ｚ
　Ｈ０４Ｌ　12/28　３００Ｚ
　Ｈ０４Ｌ　13/00　３０７Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成16年2月23日(2004.2.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
無線ネットワークを介してＴＣＰ／ＩＰプロトコルを用いて通信を行う通信装置であって、
通信を行い、受信したパケットをバッファに転送する通信手段と、
前記バッファに記憶されたパケットの識別情報に基づき、所定時間以内に所望のパケットが受信されているかどうかを判定する判定手段と、
を含み、
前記判定手段は、所定時間以内に所望のパケットが受信されていないと判定した場合、前記通信手段に、当該パケットの識別情報を含む導通確認データを前記パケットの送信元の処理装置へ向け複数回送信させることを特徴とする通信装置。
【請求項２】
請求項１において、
前記無線ネットワークのトラフィック状態を検出する手段を含み、
前記判定手段は、検出されたトラフィック状態に基づき、当該トラフィック状態が正常でない場合に、前記通信手段に、当該パケットの識別情報を含む導通確認データを前記パケットの送信元の処理装置へ向け複数回送信させることを特徴とする通信装置。
【請求項３】
無線ネットワークを介してＴＣＰ／ＩＰプロトコルを用いて通信を行う通信手段と、バッファとを有するコンピュータにより読み取り可能なプログラムであって、
コンピュータを、
前記通信手段に通信させ、受信されたパケットを前記バッファに転送する手段と、
前記バッファに記憶されたパケットの識別情報に基づき、所定時間以内に所望のパケットが受信されているかどうかを判定する判定手段として機能させ、
前記判定手段は、所定時間以内に所望のパケットが受信されていないと判定した場合、前記通信手段に、当該パケットの識別情報を含む導通確認データを前記パケットの送信元の処理装置へ向け複数回送信させることを特徴とするプログラム。

【請求項４】
コンピュータにより読み取り可能なプログラムを記憶した情報記憶媒体であって、
請求項３に記載のプログラムを記憶したことを特徴とする情報記憶媒体。
【請求項５】
無線ネットワークを介してＴＣＰ／ＩＰプロトコルを用いて通信を行う場合の通信制御方法であって、
ＴＣＰコネクションを確立した状態で、受信したパケットをバッファに転送する工程と、
前記バッファに記憶されたパケットの識別情報に基づき、所定時間以内に所望のパケットが受信されているかどうかを判定する工程と、
所定時間以内に所望のパケットが受信されていないと判定した場合、当該パケットの識別情報を含む導通確認データを前記パケットの送信元の処理装置へ向け複数回送信する工程と、
前記送信元の処理装置において、ＦａｓｔＲｅｔｒａｎｓｍｉｓｓｉｏｎ機構に従って導通確認データに含まれる識別情報によって識別されるパケットを再送信する工程と、
を含むことを特徴とする通信制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、本発明に係るプログラムは、無線ネットワークを介してＴＣＰ／ＩＰプロトコルを用いて通信を行う通信手段と、バッファとを有するコンピュータにより読み取り可能なプログラムであって、
コンピュータを、
前記通信手段に通信させ、受信されたパケットを前記バッファに転送する手段と、
前記バッファに記憶されたパケットの識別情報に基づき、所定時間以内に所望のパケットが受信されているかどうかを判定する判定手段として機能させ、
前記判定手段は、所定時間以内に所望のパケットが受信されていないと判定した場合、前記通信手段に、当該パケットの識別情報を含む導通確認データを前記パケットの送信元の処理装置へ向け複数回送信させることを特徴とする
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、本発明に係る情報記憶媒体は、コンピュータにより読み取り可能なプログラムを記憶した情報記憶媒体であって、
上記プログラムを記憶したことを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
また、前記プログラムおよび前記情報記憶媒体は、前記無線ネットワークのトラフィック状態を検出する手段としてコンピュータを機能させ（またはコンピュータを機能させるためのプログラムを記憶し）、
前記判定手段は、検出されたトラフィック状態に基づき、当該トラフィック状態が正常で

ない場合に、前記通信手段に、当該パケットの識別情報を含む導通確認データを前記パケットの送信元の処理装置へ向け複数回送信させてもよい。